

倫理綱領

社会福祉法人 さやか

前文

私たち、社会福祉法人さやかの理念は、「共に歩み、共に生きる」です。この理念は私たちが拠って立つ根拠であり、行動すべき道を示したものです。

この理念の実現として、障害のある人たちが、共に生きる仲間と支えあい、幸せな人生を送ることができるように支援していくことが、私たちの責務だと考えています。私たちは、障害のある人たちと共に歩み、真摯に向き合う支援者でありたいと希います。そのため、私たちは、確固たる倫理感をもって、その専門的役割を自覚し、自らの使命を果たさなくてはなりません。ここに倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

1 生命の尊厳

私たちは、障害のある人たちの一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

2 個人の尊厳

私たちは、障害のある人たちの、ひとりの人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。

3 人権の擁護

私たちは、障害のある人たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

4 社会への参加

私たちは、障害のある人たちが、年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活を送れるよう支援します。

5 専門的な支援

私たちは、福祉施設職員としての専門的役割と使命を自覚し、障害のある人たちの一人ひとりに適切な支援が提供できるように、たえず研鑽を重ね、人間的成長に努めます。

職員行動指針

社会福祉法人さやかは、職員一人ひとりが組織の一員として、自らの行動に責任と自覚を確立するため、「社会福祉法人さやか行動の指針」を定め、法人内外に示します。

社会福祉法人さやかのすべての職員は、この行動の指針の遵守に努めることとし、殊に管理・監督する立場にある者は、自らが模範となるよう率先して実行に努めます。

1 社会的ルールへの遵守（コンプライアンス）の徹底

社会福祉法人さやかは、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 環境保全・安全衛生の推進

社会福祉法人さやかは、地球的規模の環境破壊が進む中で、その抑止に日頃から関心を持ち、取り組めます。

利用者や地域の方と共に職場及び地域の環境保全と安全衛生に積極的に取り組めます。

3 社会貢献の推進

社会福祉法人さやかは、地域や社会に根ざした法人であるために、社会貢献活動に取り組めます。

4 人権の尊重

社会福祉法人さやかは、差別のない公平な法人であるために、互いの個性や違いを積極的に認め合い一人ひとりが平等であるという考えの下に行動します。

5 プライバシーの保護

社会福祉法人さやかは、プライバシーの保護に最大限の努力をします。

6 個人情報の保護と管理

社会福祉法人さやかは、個人情報保護法等に基づき、個人情報の適正な取り扱いを行います。

7 公正・公平な取引の推進

社会福祉法人さやかは、公正かつ公平で健全な取引を行います。

8 行政機関等との関係

社会福祉法人さやかは、自立した法人として行政機関と対等かつ健全な関係を保持します。

9 説明責任（アカウンタビリティ）の徹底

社会福祉法人さやかは、利用者やその家族・後見人等に提供するサービスや関連する情報について、適切に説明する努力や工夫を行います。また、地域の理解と信頼を高める為に地域とのコミュニケーションを図るとともに、適切な情報開示、情報提供に努め、説明責任を果たします。

10 危機管理（リスクマネジメント）の徹底

社会福祉法人さやかは、常に安全性に配慮したサービスの提供と事故防止に努めます。